

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

## 集落による農産物の加工・販売

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	みなみあいつくしもごうまち なくらさわ 福島県南会津郡下郷町南倉沢			
協定面積 5.6ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 118万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		3%
		用水路・農道等維持補修費		20%
		視察研修費・農産加工活動費		27%
協定参加者	農業者 13人			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は下郷町の南東部に位置する世帯数21戸、人口64人ほどの小規模な集落である。町の中心から伸びる国道が集落の先で通行不能となっていたが、平成20年9月に全面開通し、集落が首都圏から会津地域観光の玄関口になることから、地域内外との交流による活性化を図るとともに集落営農への移行を目指すこととした。

### 3. 取組の内容

集落営農組織の設立へ向けた第一歩として、平成18年6月に「南倉沢集落営農推進委員会」を設立。集落の現状把握や意識調査を行い、組織化へ向けた具体的な話し合いを行った。並行して、元気な地域づくり交付金を活用し、加工施設を備えた「女性・若者等活動促進施設」を集落内に建設することとなったため、本制度を利用して視察研修等を積極的に実施、地場産農産物の加工・販売に向けた準備体制を整えていった。

その後、農産物加工・販売と原料供給に向けた農業生産のための集落営農という考えに方向転換、19年4月に集落営農組織の母体となる「南倉沢営農改善組合」、12月には下部組織となる「南倉沢農産加工部会」を設立。20年3月、施設の竣工により、餅、漬物、笹団子を主力に据えた加工・販売活動を開始した。現在はJ A直売所や訪問販売等により販路拡大中であり、21年4月の集落内での「道の駅」オープンに向け、新商品開発にも取り組んでいるところである。



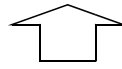
農業短期大学での研修



枳餅・豆餅等の製造

### 【集落の将来像】

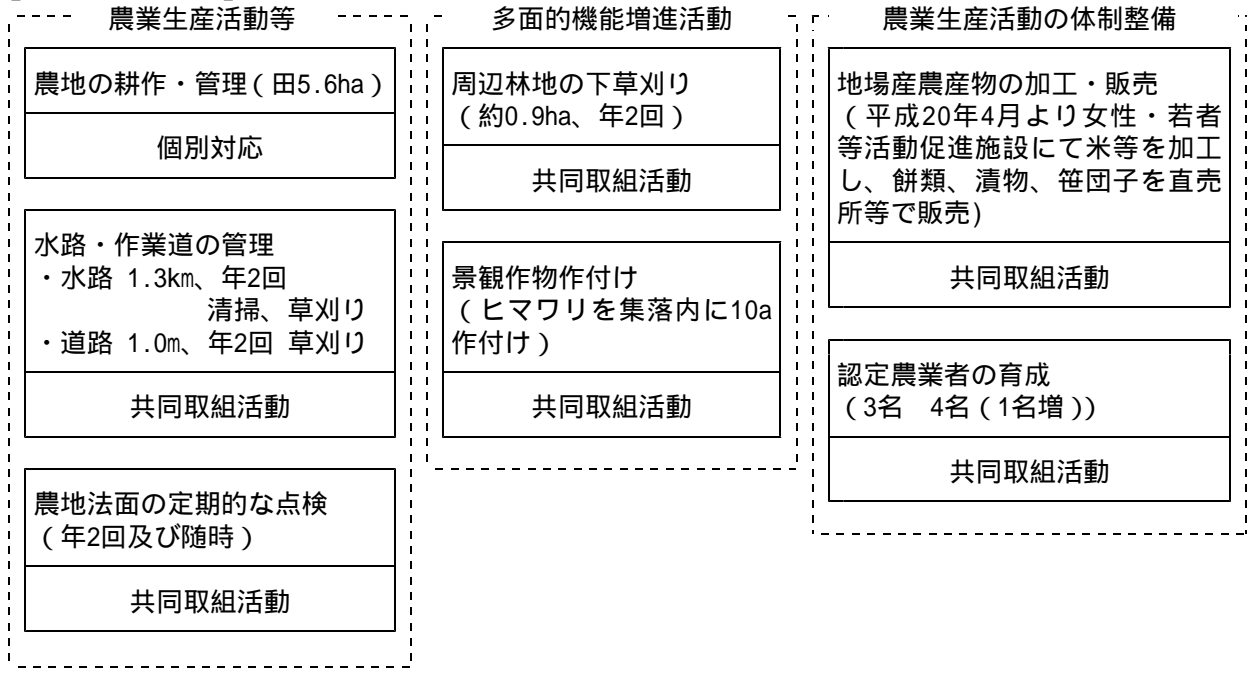
国道開通により見込まれる交流人口の増加を農業と結びつけるための農産物の加工の取組と安定的な原料供給のために、集落全体での営農へ移行。農用地維持保全、生産性の向上などのため地域の活性化に取り組んでいる。



### 【将来像を実現するための活動目標】

地場産特産物の加工、販売に向けた体制整備

### 【活動内容】



## 4. 取組による変化と今後の課題等

自分たちで作った加工品が商品として売れるということが新鮮な驚きで、特に餅は人気商品となっており、大きな励みとなっている。

集落内に道の駅が建設されることから、新商品の開発を進めており、地域の特産品を取り入れたいとのアイデアもある。広く販路を開拓することも今後の課題となっている。また、20年4月に加工品の販売を開始し、活動していくなかで、様々な課題が明らかになった。来年度の観光シーズンに向け、これらの解決に努めたい。

### 【平成20年度までの成果】

地場産農産物の加工・販売による農業所得の向上  
(餅類に集落内での生産した餅米1,050kg えごまを使用 来年度は大豆も供給予定)  
認定農業者の増加(当初3名、目標4名、H20実績4名)